

広報誌

キッズ ふくしま インタガダ

第16号

2023年5月1日

(発行)

キッズふくしまインタガダ実行委員会
(事務局)

〒943-0892

新潟県上越市寺町2-24-4

真宗大谷派高田教務所内

TEL:025-524-3913/FAX:025-524-2645

URL:<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>



高田別院での集合写真



今回のキッズふくしまには、中越高校写真部の有志がボランティアとして参加して下さいました。その写真部の皆さんが撮影した写真もたくさん掲載していますのでご覧ください。



キッズふくしま スプリングキャンプ イン たかだ

2023年 3月27日～3月31日



1日目 (3月27日)

池の平センター到着 自己紹介
オリエンテーションなど



比較的雪の少ない冬で、楽しみにしている雪遊びも思うようにできないのではないかと懸念されましたが、そこは有数の豪雪地帯妙高高原。たくさんさんの残雪が子どもたちを迎え入れてくれました。

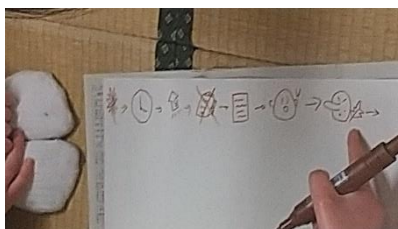
新型コロナウイルスの感染も比較的落ち着きを見せる中、今回はいつもより少し定員を増やして募集したところ、いわき市から二十名の子どもたちが参加をして下さいました。参加者全員が抗原検査を実施し、感染防止対策を講じながらの実施となりましたが、一名の感染者を出すこともなく、楽しい笑顔いっぱいの中で日程を過ごすことができました。



元気に到着した子どもたち。疲れも見せず、さっそく雪と戯れました



夕食の後のお楽しみ会。
体を動かしながらゲームやイラストしりとり
で交流を深めました。



2日目は一日雪遊びです。雪に親しみのない地域で生活されているいわき市の子ども達にとっては、ここでしか味わえない貴重な体験となったことでしょう。

2日目 (3月28日)

雪上レクリエーション



これまでの「キッズふくしまインたかだ」の取り組み、今後の予定などを、たくさんの写真と共に随時アップしています。ぜひアクセスしてみてください。

なお、この広報誌はホームページにPDFデータでカラーアップされていますので、印刷してご利用ください。

ネットで公開しています

ホームページ

<https://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

Facebook

<https://www.facebook.com/kidsfukushima/>

Twitter

<https://www.twitter.com/kidsfukushima/>

3日目 (3月29日)

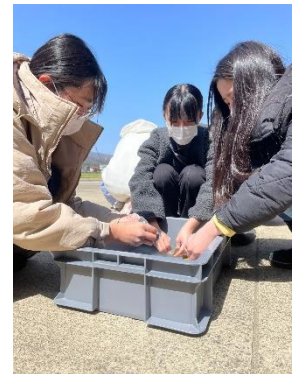
センターを離れて
上越市・妙高市へ



3日目はスタッフの地元地域を訪問しました。マイクロバスを利用して上越妙高駅近くの釜蓋遺跡を訪ね、高田・新井両別院への参拝、妙高市内の体育館でスポーツレクリエーションを楽しんできました。



高田別院、新井別院を参拝しました。桜やこぶしが満開でしたよ。



釜蓋遺跡で勾玉づくり体験を行いました。石の塊を削り出し、丁寧に磨いてオリジナル勾玉を完成させました。良いお土産ができましたよ。



体育館で体を動かして
リフレッシュしました





4日目 (3月30日)

屋内で制作活動



4日目は室内での活動。午前中は「手つなぎフラッグづくり」を行いました。池の平青少幼年センターの50周年記念イベントを彩るフラッグを個性豊かに作ってくれました。



午後はアイスクリーム作りを行いました。雪を入れたナイロン袋にアイスクリームの材料を入れたペットボトルを入れ、ボール状に固めて転がすとアイスクリームの完成です。



夜は班別の寸劇披露です。各班志向を凝らした出し物で盛り上がりました。明かりを消して、牛乳パックで作ったミニキャンドルロードも幻想的でした。





5日目 (3月31日)

最終日 帰路につく

全員元気に故郷いわき市へ帰って
いきました。5日ぶりの家族との
再会。思い出話が尽きません。



こども達の 感想

Thank You ☆



朝の集いの様子

小学六年生 阿部 さくらさん

私がキッズふくしまに参加して思ったことは、キッズふくしまの活動が十年以上続いていることがすばらしいということ。東日本大震災がおこってから十二年たった今でも小学生が楽しめる活動を続けていることはすばらしいことだと思えます。キッズふくしまの活動を通して、最初はめんどくさいと思っていたお勤めも、今では阿弥陀如来様を敬うためだと思いと、集中して朝の集いに参加することができました。他にも、たくさんの子と仲良くなれたり、まがたま作りなど、きちょうな体験ができました。中学生になって参加できないのは残念ですが、私が大人になってもキッズふくしまが続いていればいいなと思えました。

これからもキッズふくしまの活動をがんばってください。

小学五年生

奥脇 大翔さん

三月二十七日から三十一日までの五日間、キッズふくしまスプリングキャンプに参加しました。夏は何回か参加していますが、春は初めてのなので、とても楽しかったです。キャンプでは楽しいことがたくさんありました。まがたま作りをしたり、体育

館でサッカーやバスケットボールをしたり、夕食後のお楽しみ会では映画を観たり、みんなでげきをやったり、もりだくさんでした。とくに雪遊びでは、ソリスべりや雪合戦などふだんみんなとできない遊びができて、とても楽しかったです。食事ではみんなワイワイ食べてとてもおいしかったです。次の夏のキャンプもぜひ参加したいと思いました。

お力添えいただきありがとうございます

「キッズふくしま」とは福島第一原発事故を機に始まった、福島の子供たちのための保養活動です。現地からは、今もなお放射能に対する不安を抱く親御さんの声が聞かれます。それと同時に新型コロナウイルスという新たな脅威にもさらされている現状があります。

「キッズふくしま」は、大人たちが便利という言葉に「ごまかされて思考を止め、本当の安全を追及して来なかった事や、原発事故、放射能汚染等の負のバトンを子どもたちに渡さなければならぬ事に対する「ごめんなさい」から始める」活動です。子供たちが感じているストレスの軽減と、受けている内部被ばくの減少を目的として、たとえ数日間という短い

間でも汚染されていない地域で過ごし、思い切り遊んでもらいたいと思っています。「理解の程宜しく願っています」。

皆様からのご寄附をお願いします

- 郵便局からの振込 -

口座記号番号 (ゆうちょ銀行)
00500-1-101787

口座名 キッズふくしま たかだ

- 他金融機関からの振込 -

店番 059 (ゆうちょ銀行)

口座名 キッズふくしま たかだ

預金種目 当座

口座番号 0101787



いわき市 荒静様

この度は「スプリングキャンプインたかだ」で息子が大変お世話になりました。

キャンプや外遊びが大好きな息子は前回初参加させていただいたサマーキャンプがとても楽しかったらしく、「スプリングキャンプも参加したい!!」と早くから言っていました。

初参加の時はお友達に誘われて一緒にキャンプに参加したものの、親と離れて知らない人たちの中で五日間も過ごすのは初めての事だったので、息子も私も期待と不安でいっぱいでしたが、帰って来た息子の顔を見て、参加させていただいて

良かったとつくづく思いました。ですので今回は安心して「いってらっしゃい」と見送ることができました。

今回のかまくら作り、雪だるま作り、牛乳パックでランタン作り、アイスクリーム作り等、普段出来ない貴重な体験が出来てとても良かったです。

また、スタッフの方との会話や楽しく遊んだ事も印象に残っているらしく一生懸命話していました。正直、キャンプの事前説明会も参加出来なかったもので、どんな方が運営しているのかも知らず参加させてもいいのだろうか?と少し不安も感じていましたが、息子の話を聞いてスタッフの皆さんに温かく見守って頂きながら、自分の出来ることを楽しくのびのびと体験出来た事に感謝しております。

また、途中で息子の具合が悪くなった時も献身的に看病して下さいありがとうございました。

前回、今回のキャンプを振り返ってみると、貴重な体験の中で息子が



高田別院お食堂での昼食会

以前にも増して自分で何でもやろうとする姿が見られること、人見知りで自分から人の中に入らない子でしたが、初めて会った人と楽しく過ごせたことで自信が付き成長できたことが見られ、本当に参加させていただき良かったと思っております。

スタッフの皆様、本当にありがとうございます。皆様のご健康と益々のご発展をお祈り致します。

スタッフ募集!

※ お問い合わせは事務局まで

実行委員会では随時スタッフを募集しています。

～池の平会場において～

- ① 全日程通じての参加
- ② 短時間での参加
- ③ 食事の準備、片付け
- ④ 子どもたちと遊びたい人
- ⑤ 現地への送迎

お願いします!



いわき市 平山 裕子 様

三年生だった二人が初めてサマ
ーキャンプに参加してから今回が
五回目、六年生として最後のスプリ
ングキャンプ参加となりました。

何をやるにも二人一組の双子の
娘たちが親元から離れて過ごすこ
と。親の私達の方が心配で、そわそ
わと落ち着きませんでした。一人が
ホームシックで泣いて電話をかけ
てきても、もう一人は全然平気。そ
んな二人が今では、心も身体も大き
く成長しました。

「そろそろ届くかな?」「まだか
な?」と、毎回キッズふくしまの案
内を心待ちにしています。届くと
一目散に喜びながら封筒を開きま
す。そんな子供たちの反応とは別
で、私は震災の事をふと思い出しま
す。福島の中で放射能の話題は無く
なっついていき、毎日テレビで見る天気
予報の中で表示される、一日の最高
最低放射線量数値を流して見る
程度。日々の慌ただしい日常生活の
中で忘れかけてしまっていること

に気付かされます。

当時まだ四ヶ月だった双子たち
と共に東京の義弟のアパートへ避
難しました。泣きやまない夜は寒空
の中、主人と抱っこをして散歩をし
ました。ミルクを作るミネラルウオ
ーターも手に入らず探し回った事
もありました。避難民に対して冷た
い態度をとる人達がいるという話
を聞く一方で、私達は見ず知らずの
方から水をゆずって頂いたり、温か
い言葉をかけてもらう事の方が多
かったのを覚えています。キッズふ
くしまは、そういう忘れかけていた
あの頃のことを今、大きくなった子
供たちに「きつかけ」をくれました。
気が付けば、原発事故、新型コロナ
ナウイルスと子供たちには外より
も中で遊ばせる事が多くなってい
まいました。ですが、このキャンプ
に参加して夏には海水浴にBBQ、
春にはいわきでは体験できない雪
遊び。子供たちのお土産話は、しば
らく尽きませんでした。自然豊かな
新潟の地で、お友達やスタッフさん
達と楽しい時間を過ごすことがで

会計報告

この活動に対し様々な方に御支援を頂きまし
たことを、ここにご報告させていただきます。

- ・ 引地 隆介 様 ※順不同
- ・ 阿部 真之 様
- ・ 平山 史一 様
- ・ 奥脇 保秋 様
- ・ 佐藤 真姫 様
- ・ 全日本仏教会様
- ・ 圓照寺様 (第一組)

通帳残高 1,650,435 円

(2023年4月19日現在)

この募金はキッズふくしま実行委員会が管理
をして、必要があれば実行委員会の決済を経
て、キッズふくしま関連事業への補助を行いま
す。今後も高田、新井両別院報恩講や各種行事
において募金活動を行う予定です。引き続きご
理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

きました。スタッフの皆様には自分
の子供のように成長を見守って頂
きました。震災後から多くの方々
に忘れ去られず今でもなお、支えら
れているという事が分かり感謝の
気持ちでいっぱいです。

子供達は『忘れられないのしい
思い出』というプレゼントをキッズ
ふくしまに関わる皆様から受け取
りました。

今後もキッズふくしまによって
多くの子供たちがこの素敵なプレ

ゼントを受け取れますように・・・
続けて頂ければ嬉しく思います。今
回も参加させていただきありがと
うございました。

